

<記者発表資料①>

令和5年2月16日 記者発表
2月21日 解 禁

総務部財政課

担当：課長 中尾 吉伸

内線：2450

令和5年度 当初予算(案)の概要



三木市 Miki City

1. 予算規模

☆ 一般会計予算は、前年度より11億4千万円増加の355億2千万円で、過去最大

☆ 全会計の予算規模は、前年度より約14億7千万円(2.5%)の増加

(単位:千円)

		令和5年度当初予算(案)		令和4年度当初予算		対前年度比(歳出)	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額(C) (A-B)	増減率 (C/B)
一般会計		35,520,000	35,520,000	34,380,000	34,380,000	1,140,000	3.3%
特別会計	国民健康保険特別会計	8,667,000	8,667,000	9,020,000	9,020,000	△ 353,000	△ 3.9%
	介護保険特別会計	7,532,000	7,532,000	7,303,000	7,303,000	229,000	3.1%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,591,000	1,591,000	1,526,000	1,526,000	65,000	4.3%
	学校給食事業特別会計	300,000	300,000	278,000	278,000	22,000	7.9%
企業会計	水道事業会計	2,029,722	2,901,496	2,034,875	2,439,151	462,345	19.0%
	収益的収支	1,934,881	1,818,811	1,920,928	1,779,579	39,232	2.2%
	資本的収支	94,841	1,082,685	113,947	659,572	423,113	64.1%
	下水道事業会計	4,014,793	5,073,628	4,145,799	5,161,808	△ 88,180	△ 1.7%
	収益的収支	2,476,427	2,437,467	2,533,439	2,470,214	△ 32,747	△ 1.3%
	資本的収支	1,538,366	2,636,161	1,612,360	2,691,594	△ 55,433	△ 2.1%
合 計		59,654,515	61,585,124	58,687,674	60,107,959	1,477,165	2.5%

2. 一般会計予算の特徴

プロローグ ～ 飛躍への序章 ～

三木市の魅力をさらに磨き上げ、大きく飛躍するための序章として、第一に教育のまちの推進に向けた取組。加えて、本市が持つ優れた地域資源(三木ブランド)の魅力向上のための取組、防災をはじめとする安全安心な環境づくりの取組、まちの活力の向上のための取組を進めていきます。

教育のまちの推進

- 生活困窮世帯の子どもの学習・生活を支援
- 小中一貫教育を推進
- 未来を創る学力を育成「三木モデル」
- ICT教育指導員・不登校対策指導員・学校看護員を増員
- 小学生を対象に劇団四季のミュージカル公演を開催
- 学校給食の食材高騰分を支援

地域資源(三木ブランド)の魅力向上

- 三木金物ブランド戦略の推進
- 中小企業の経営革新設備への投資を促進(DX枠)
- 山田錦の郷の整備を推進
- 三木産山田錦のブランド化と山田錦で作られた日本酒の振興
- ゴルフを核にしたまちづくりの推進
- ふるさと納税返礼品開発アイデアコンテストを実施

安全安心な環境づくり

- 防犯機能付き電話機等の購入を支援
- 低所得の妊婦の初回産科受診料を支援
- 産後ケアのサービスを拡充
- 吉川分署を移転、建替え
- 消防団員の処遇を改善(団員報酬等の増額)
- 密集市街地の改善、狭あい道路の整備
- ため池の防災対策を支援

まちの活力の向上

- ひょうご情報公園都市の整備を推進
- スマートインターチェンジの整備を推進
- スケートボードパークオープニングイベントを開催
- 結婚新生活を応援
- 高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施(みっき☆シニア健康サポート事業)

3. 一般会計予算（目的別）

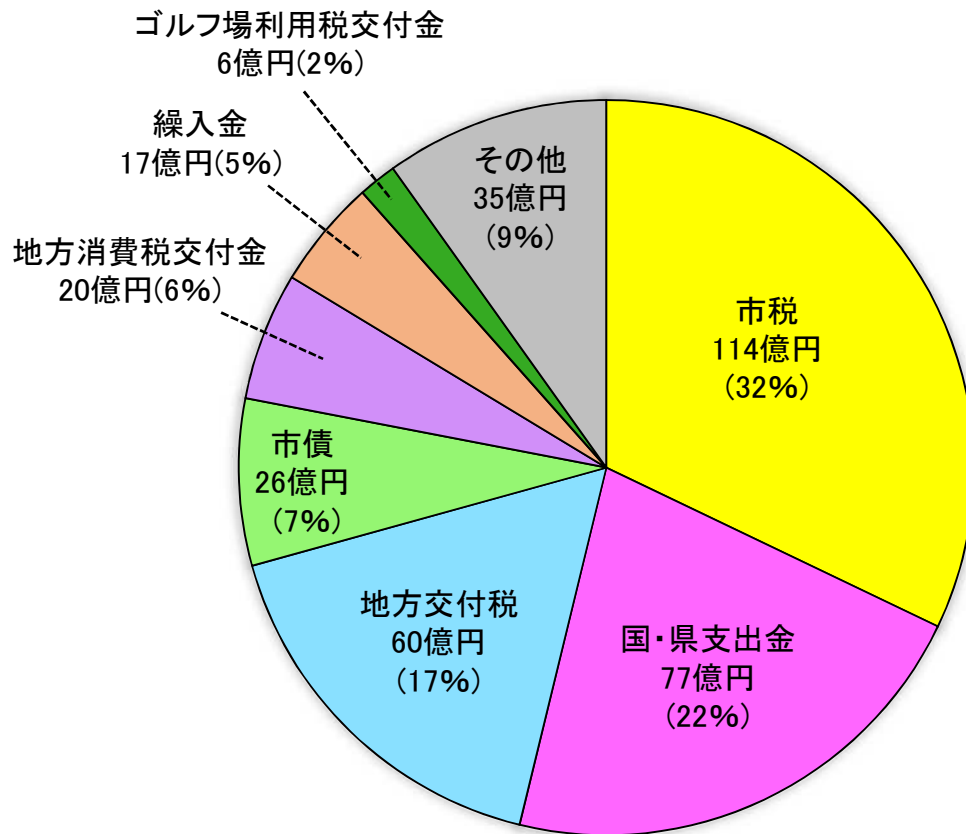
- ☆ 衛生費(28.2億円)は、じん芥処理施設の改修費用や出産・子育て応援事業に係る費用などで、前年度比3.2億円(13.0%)増
- ☆ 土木費(22.5億円)は、スマートインターチェンジの整備や都市計画図の更新に係る費用などで、前年度比3.3億円(17.2%)増
- ☆ 消防費(11.4億円)は、消防団員の報酬改正や吉川分署の建替え費用などで、前年度比1.4億円(14.9%)増

目的	令和5年度 当初予算(案)	令和4年度 当初予算	増減額	増減率	主な増減要因
総務費	44.8億円	42.9億円	1.9億円	4.5%	ふるさと納税返礼品や市議会議員選挙等に係る費用などの増
民生費	128.9億円	126.8億円	2.1億円	1.6%	障害福祉サービス給付費やこども園給付費等の増
衛生費	28.2億円	25.0億円	3.2億円	13.0%	じん芥処理施設の改修費用や出産・子育て応援事業に係る費用などの増
農林業費	8.0億円	7.8億円	0.2億円	2.2%	ため池等整備事業に係る費用などの増
商工費	12.0億円	12.2億円	△ 0.2億円	△ 2.0%	企業誘致助成金の減
土木費	22.5億円	19.2億円	3.3億円	17.2%	スマートインターチェンジの整備や都市計画図の更新に係る費用などの増
消防費	11.4億円	10.0億円	1.4億円	14.9%	消防団員の報酬改正や吉川分署の建替え費用などの増
教育費	31.2億円	31.5億円	△ 0.3億円	△ 1.1%	青山公民館の中規模改修や吉川体育館の解体撤去工事に係る費用の減
公債費	46.3億円	46.6億円	△ 0.3億円	△ 0.5%	借換債(10.2億円→8.8億円)の減など
諸支出金	17.6億円	17.7億円	△ 0.1億円	△ 0.5%	
その他	4.3億円	4.1億円	0.2億円	4.9%	
合計	355.2億円	343.8億円	11.4億円	3.3%	

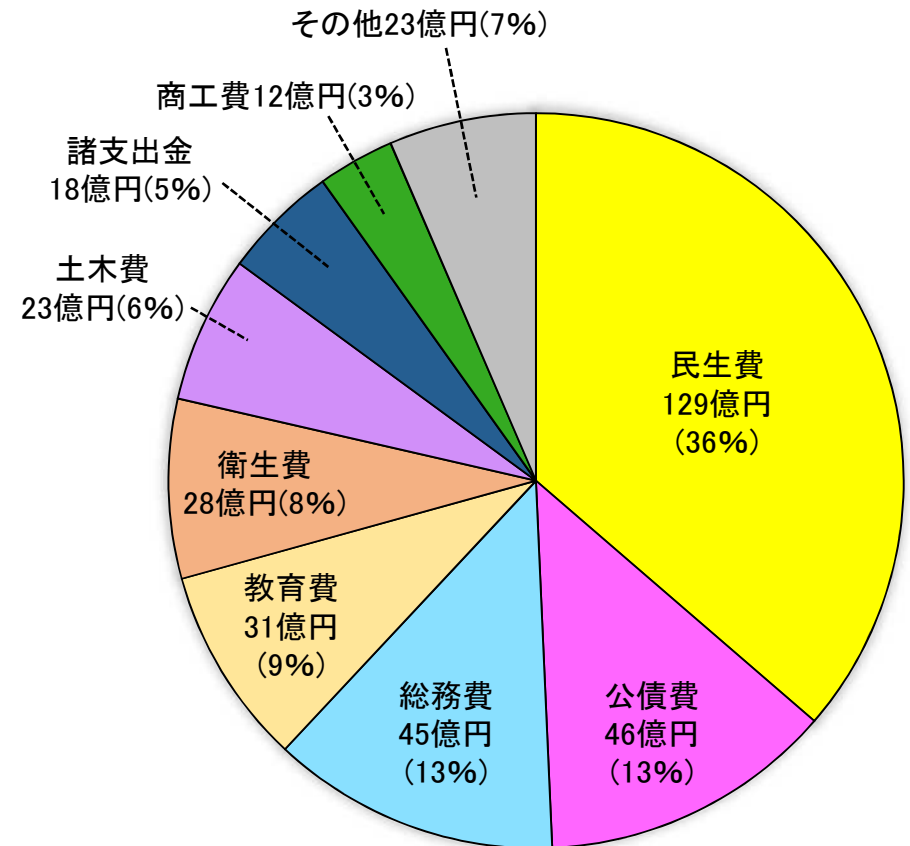
※ 増減率は、千円単位の額で比較

4. 一般会計予算 (内訳)

歳入(約355億円)



歳出(約355億円)



5. 特別会計

国民健康保険

86億6,700万円（前年度比 Δ 3億5,300万円、 Δ 3.9%）

- ☆ 県施策による納付金の減少により、再度、保険税率を改定
- ☆ 保険税負担感の軽減のため納期を9回から10回に拡大
- ☆ 赤字補てん目的の法定外繰入を廃止

介護保険

75億3,200万円（前年度比 +2億2,900万円、+3.1%）

- ☆ 第8期介護保険事業計画の最終年度となるため、次期(第9期)計画の策定に着手
- ☆ 認知症施策や、フレイル予防・介護予防などを推進
- ☆ 介護保険の剰余金を活用し、県内29市で最も安い介護保険料を令和5年度まで継続

後期高齢者医療事業

15億9,100万円（前年度比 +6,500万円、+4.3%）

- ☆ 75歳年齢到達による加入者の増加にともない、歳入・歳出ともに増
- ☆ 保険料は据え置き
次回改定は令和6年度(2年ごとの見直し)

学校給食事業

3億円（前年度比 +2,200万円、+7.9%）

- ☆ 児童・生徒数の減少にともない給食負担金が減額
- ☆ 物価高騰により食材費が増加するが、市が物価高騰分を負担し、給食費を据え置き

特別会計予算総額

令和5年度	令和4年度	対前年度	
		増減額	増減比
180.9億円	181.2億円	Δ 0.3億円	Δ 0.2%

6. 企業会計

安心しておいしく飲める水道水を安定して供給するとともに、河川や水路の水質を保全していきます。

水道事業

29億149万円（前年度比 +4億6,234万円、+19.0%）

- ◆ 主要管路を更新し耐震化を推進
- ◆ 自由が丘配水場の改修
- ◆ 配水池ポンプ場等の水道施設の運転管理
- ◆ 自己水源である深井戸の適切な維持管理
- ◆ 配水・給水施設の適切な維持管理
- ◆ 県営水道の受水

下水道事業

50億7,362万円（前年度比 △8,818万円、△1.7%）

- ◆ 下水道管及びマンホール蓋の長寿命化
- ◆ 吉川浄化センターの長寿命化及び適切な管理運営
- ◆ スtockマネジメント計画の見直し
- ◆ 農業集落排水施設の統廃合による広域化
- ◆ 下水道処理施設の浸水対策
- ◆ 加古川上流流域下水道負担金

企業会計予算総額

令和5年度	令和4年度	対前年度	
		増減額	増減比
79.7億円	76.0億円	+3.7億円	+4.9%